



IDF PRESS RELEASE

Brussels, 23rd January 2018

IDFプレスリリース

2018年1月23日、ブリュッセル発

持続可能な食事における乳の役割

乳の環境的影響および社会経済的影響を検証する

The Role of Dairy in Sustainable Diets: looking at the environmental and socioeconomic impact of dairy

2018年2月1日ー2日、スペインはセビリアにおいて世界の専門家が乳の影響力全般について討議する予定である。

バージニア州アーリントンに本拠を置く全米乳製品輸出協会のデーシア・ホイトセット・モロー戦略検討理事は、「グローバルな情勢における乳栄養のベネフィット」と題して講演する予定である。脆弱な集団に与える乳原料の栄養的に有利な役割について最新の科学的な進展に光を照らす。

「たんぱく質の品質は食糧援助活動に不可欠です。脆弱集団向けの食糧援助食品に用いる原料として高い品質の乳たんぱく質を提供することは、長期的な治療や栄養不足の予防措置に役立ちます。乳原料が高い品質のたんぱく質を提供し健康な子供の成長を助け、栄養不足の治療や発育障害から回復する機能に資することも確認したいと思います。」とホイトセット・モロー夫人は寸評した。

ラクタリス社の法務担当役員エリック・グランデ氏は「乳業会社が採用した持続可能性の指標」という演題で参加者に情報提供する予定である。

「乳業会社における社会責任CSRの報告システムでは、持続可能性の指標を基礎としながら、企業【価値】だけをみるのではなく、デリーチェーンの重要性を酪農乳業界の立役者間の密接な相互関係という、より総合的なアプローチにおいて捉える点を強調する。」とグランデ氏は語った。

酪農乳業界においては、食品業界の他のいかなる業界よりも、指標の範囲が乳業会社に限定されずに、生乳生産者を含む業界全体を網羅することが特徴である。

このことは、環境の指標だけでなく、大半の社会的な指標や社会経済的な指標にも当てはまる。ある地域の過去、現在および未来は、酪農乳業界や乳業会社の発展に関係している。この関係性は酪農乳業が採用した持続可能性の指標に反映されている。

当シンポジウムのプログラムは <https://www.fil-idf.org/idfevent2018/>を参照ください。

完

翻訳：J I D F 事務局

编者注:仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。